

ロンドンオリンピック聖火リレー(稲沢市中学生のギリシャ・オリンピア市訪問)

2012年6月13日
在ギリシャ日本国大使館

オリンピックの発祥の地であるギリシャのオリンピア市は、1987年に愛知県稲沢市と姉妹都市提携を結び、今年は両市の姉妹都市交流25周年にあたります。

去る6月10日、そのオリンピア市にて、夏のロンドンオリンピックの聖火の採火式、及び聖火リレーという、4年に一度の大イベントが行われました。



このイベントに、姉妹都市の愛知県稲沢市から中学生代表が派遣されました。稲沢市の各中学校から選出された中学生9名は、ランナーとして聖火リレーに参加し、無事に聖火をつなぐ大役を果たしました。





10 日夜には、エフティミオス・コザス・オリンピア市長、大野紀明・稲沢市長、渡辺菱・稲沢市議会議長をはじめとする両市の関係者、及び戸田博史・在ギリシャ日本大使が出席して、稲沢市と日本大使館の共催による交流レセプションが開催されました。

両市の関係者は今後の益々の友好親善を約し、また稲沢市からオリンピア関係者に対し、来年 2 月に行われる稲沢名物、「裸祭り」への招待がなされました。また、戸田大使が、今後も両市間の姉妹都市関係の発展を応援したいと述べました。レセプションでは、稲沢市から派遣された中学生が剣玉、お手玉、折り紙等の日本の伝承遊びを披露し、オリンピア市の中学生やオリンピア側参加者がそれを楽しむ場面もあり、中学生同士がにぎやかに交流し、友好を深めました。

